日本史演習1C－Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
選択必修　2単位

相澤　央

1. 授業の概要（ねらい）

日本古代史に関する論文の中から、報告者が関心のあるテーマの論文を選び、論文の要旨や意義、疑問点、批判点などについてレジュメにまとめて報告する。報告者以外の演習参加者も同じ論文を事前に必ず読み、自分の意見をもって演習に参加し、全員で討論する。授業は当番の司会者が、発表・質疑・討論の進行をして、最後にまとめる。

2. 授業の到達目標

①研究論文を読解し、要旨を簡潔にまとめる力を身につける。
②疑問点・批判点など、自分の意見をまとめて発表する力を身につける。
③各自の研究テーマを選び、関連論文を読み、史料を読解して、8,000字程度のレポートにまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

授業での発表・報告レジュメ・討論への参加（50%）と、8,000字程度の期末レポート（50%）で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
佐藤信編　『古代史講義－邪馬台国から平安時代まで－』　ちくま新書
『岩波講座日本歴史』1～5　岩波書店
『列島の古代史』2～7　岩波書店

5. 準備学修の内容

報告担当者は、選んだ論文の要旨と疑問点・批判点などについてまとめたレジュメを作成する。担当者以外も必ず論文を読み、自分の意見や疑問点などをノートにまとめて授業に参加すること。学期末のレポートの作成に向けて、関心のあるテーマに関わる文献や史料を読み、日ごろから各自で自主的に準備を進めること。

6. その他履修上の注意事項

卒業論文で日本古代史を希望する学生は必ず履修すること。この演習で選んだ研究テーマを卒業論文に発展させることが望ましい。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス。演習の進め方、論文リストの配布など。
【第2回】　報告担当論文の決定。報告・司会の順番の決定など。
【第3回】　報告担当者による発表と全員での討論①
【第4回】　報告担当者による発表と全員での討論②
【第5回】　報告担当者による発表と全員での討論③
【第6回】　報告担当者による発表と全員での討論④
【第7回】　報告担当者による発表と全員での討論⑤
【第8回】　報告担当者による発表と全員での討論⑥
【第9回】　報告担当者による発表と全員での討論⑦
【第10回】　報告担当者による発表と全員での討論⑧
【第11回】　報告担当者による発表と全員での討論⑨
【第12回】　報告担当者による発表と全員での討論⑩
【第13回】　報告担当者による発表と全員での討論⑪
【第14回】　報告担当者による発表と全員での討論⑫
【第15回】　報告担当者による発表と全員での討論⑬